

帝人
ありがとう
特集!

帝人(株)徳山事業所

50年の歴史に幕!!

帝人(株)徳山事業所は、操業当時より長年、徳山商工会議所の顧問と議員を務めていただきました。

徳山事業所長の河野さんに、事業所の歴史や想いについて、お話を伺いました。

【歴史】

1918年 6月	帝人(株)設立。来年で100周年を迎えます。
1968年 4月	徳山事業所にてポリエステル短繊維の生産を開始。
2002年 4月	回収ペットボトルを使用し、原料リサイクルの操業を開始。
2014年 11月	徳山事業所閉鎖を公表。
2017年 10月	10月6日、ポリエステル短繊維の生産を終了。
2017年 12月	徳山事業所閉鎖。惜しまれつつ、50年の歴史に幕。

帝人(株)徳山事業所は、1968年にポリエステル短繊維の生産を開始しました。隣接する出光興産(株) (当時の出光石油化学(株)) から、ポリエステルの原料となる混合キシレンの供給を受けていました。

2002年には原料リサイクルの操業を開始するなど技術の向上に努めてきました。当初は衣料中心だったポリエステル短繊維の使用用途ですが、近年では、オムツなどの生活用品や新幹線のシートのカッション材など、産業用途が9割を占めるまでになりました。

今回、国際競争力をさらに強化するための発展的構造改革の一環として、松山とタイの工場へポリエステル短繊維の生産を移管し、増産していくことが決まりました。そして徳山工場は、2017年12月をもって、半世紀に亘る歴史に幕を下ろすことになりました。



起工式(1967年)



帝人徳山創業式(1968年)



ポリエステル短繊維(紡糸工程)



ポリエステル短繊維(延伸工程)

【今後は】

●安全対策

事業所内の建築物は将来的に取り壊す予定ですが、数年を要する見込みです。無人化に向けた安全対策として、危険物の処理や防犯対策など、地域のご理解を得ながら、万全の対策を取っていきます。

また、倒壊の恐れがある煙突や公海に突出している栈橋などの構築物も計画的に撤去する予定です。

●跡地活用

徳山事業所の敷地面積は約19万平方メートルです。現在、安全対策や構築物の撤去など、将来の跡地活用に向け、必要な環境整備を進めているところです。山口県・周南市とも連携しながら、企業誘致などの跡地活用策を検討していくこととなります。

「白浜神社」について

徳山事業所は、埋め立て前は、美しい白い砂浜が広がっていたそうです。その景観に由来する名を冠した「白浜神社」が、大津島を望む敷地北西角に建立され、事業所を見守ってきました。

白浜神社には、守護神ならびに靖国神社から分祀された「回天」戦没者の御霊が祀られています。毎年春には、回天顕彰会の方々にも参列いただき、例祭が行われてきました。今後は、関係者の方々との協議されているとのこと。



【初ミコシ!】 ~徳山夏まつり~

「最後に地元に残したい!感謝の気持ちを伝えたい!」との思いで、最初で最後のミコシに参加しました!事業所閉鎖を控え、「まつりに参加するのはどうなのか?」という気持ちもありましたが、2人、3人と社員の輪が広がり、当日は他の事業所の社員やOBまで、合わせて約100人が集まりました。

ミコシは帝人の先端素材を使って新たに制作し、ハッピーは社員がデザインした「帝人徳山」オリジナルのものを新調しました。

まつり当日は、朝から参加者が集合し、「だけじゃないサンバ」を猛特訓しました。まつり途中での大雨にもかかわらず、全員が「やって良かった」「見るだけよりずっと楽しかった」と笑顔をたたえ、喜びを分かち合いました。



1974年に入社し、1980年まで徳山事業所に勤務。入社試験で会場を間違えて隣の出光興産へ行き、試験に遅刻してしまったとか!?

2013年2月に事業所長として徳山事業所へ再赴任。ポリエステル製品が進化していることに驚いたそうです。



徳山事業所長 河野正幸さん

【最後に・・・】

周南コンビナートは、周りの企業とのつながりが強いですね。そして、地域の皆様が、私達企業の活動を良く理解してくださっています。

半世紀の長きにわたり、この地で事業所を運営させていただき、感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

出来るものなら、地域の皆様、企業の方々、社員とその家族、お世話になったお一人お一人に直接お会いして、感謝をお伝えしたい気持ちです。

立つ鳥跡を濁さず。最後まで責任を持って、安全・環境に配慮した活動に取り組んでまいります。

